

信州型コミュニティスクール

北信地区活動だより

NO. 8 (令和元年8月) 北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 岡田 絵美

信州型コミュニティスクールの取組がスタートして7年目を迎えました。北信地区では、国のコミュニティ・スクールを含め、すべての小・中学校で信州型コミュニティスクール（以下、「信州型CS」）の仕組みが整い、それぞれの学校で地域の特色や地域とのつながりを生かした多様な取組が行われています。

そこで、各校の取組の情報を共有していただくために、「信州型コミュニティスクール北信地区活動だより」を定期的に発行し、これまでの学校訪問等をもとに各校の取組事例を紹介していきます。ご参考にしていただければ幸いです。

鍋屋田小



「学校菜園で交流」

長野市立鍋屋田小学校

Ⅱ 「困った！」からの地域との連携・協働

鍋屋田小学校では学校菜園を充分活用できていないという悩みがありました。そこで、地域の方と学校菜園で一緒に活動し、さらに日常的に交流ができないかと考えたそうです。

校長先生が相談したのは区長さんでした。そして区長さんから地域の情報に詳しい『住民自治協議会』へと繋がりました。

住民自治協議会からは、地域の老人クラブへの貸し出しを提案していただき、学校内にある市民農園が実現しました。



児童数・教員数減少
花壇や畑ができない
地域の方に有効活用
してもらえないか？



ポイント

地域の情報を持っている
人や団体との繋がり
は力強い味方ですね。



Ⅱ 相談できそうな団体を考えてみましょう

- | | |
|--------------|-----------|
| ▶ PTAの皆さん | ▶ NPO法人 |
| ▶ 公民館 | ▶ スポーツ団体 |
| ▶ 地域のお祭り | ▶ JA |
| ▶ 住民自治協議会 | ▶ 食生活改善委員 |
| ▶ 長寿社会開発センター | ▶ 商工会議所 |
| ▶ 社会教育委員 | ▶ 高校・大学 |
| ▶ 子ども食堂 | ▶ 教育事務所 |

■ 場を共有することで生まれた「交流の姿」



学校農園のすぐとなりで、貸し出された「市民農園」となりました。活動場所が同じなので、子どもとの会話も自然に生まれます。
「何を作っているのですか？」
「これはね…」
自然に顔見知りになりました。



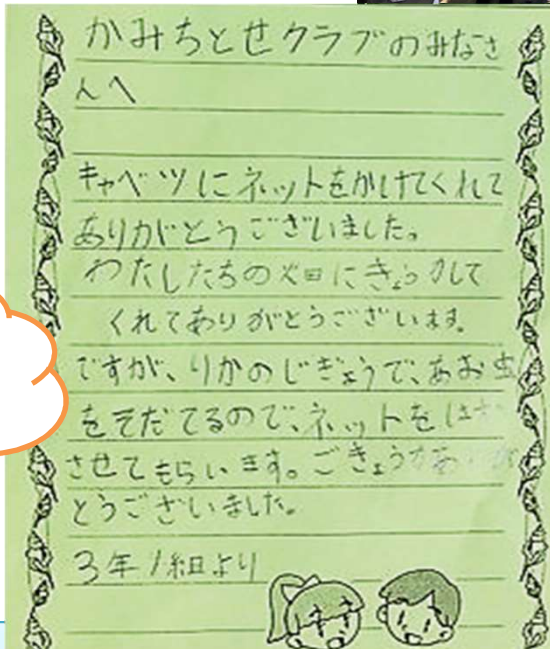
老人クラブのみなさん、子ども達のキャベツに青虫がついているのを見て、ネットをかけてくださいました。ですが…

実は、理科の学習のために、青虫さんをよぶキャベツだったのです。

子ども達はいつもお世話になっている老人クラブの皆さんにお手紙を書きました。学校にとっても、老人クラブの皆さんにとっても、楽しい活動になっています。まさにWinWin（ウィンウィン）ですね。



名札も作っていただきました。
安心して活動できます。



無理をしない、長続きする活動が大切！
「できる人が、できる時に、できる事を」

コミュニティスクールの活動は、長く続いていく活動でありたいものです。イベント的な取り組みだけでなく、無理せず継続してできる活動や地域の素材に目をむけてはいかげでしょうか。

鍋屋田小学校では、市民の皆様生活の場所を提供し、子ども達と共有できる場を設定することで、無理をしない活動を生み出しています。

「できる人が、できる時に、できる事を」の一つの形ですね。

地域とともにある学校づくりの充実に向けて、学校や地域に出向いての信州型CSの基礎研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡していただけたいと思います。

■■お問い合わせ先■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1
Tel: 026-234-9552 E-mail: hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp